

# 平成31年度 学校教育の指導に関する重点取組

## 1 幼稚園教育

- 預かり保育を全園で通年実施する(P4参照)
- 幼保小連携を充実する

## 2 義務教育

- 「授業の質的改善」と「基礎学力の向上」を全クラスで徹底することにより、全ての子どもの学力を保証する(P2参照)
- 「不登校の未然防止と対応力の向上」への取組と民間団体と連携した「居場所・学習の機会づくり」を促進し、不登校対策を充実させる(P3参照)

## 3 高校教育

- 次世代型「課題解決型学習」を推進する(P4参照)

尼崎市教育委員会

# すべての子どもの 学力保証

## 授業の質的改善

すべての学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。

### 授業の質的な改善

- 校内研究等の指導助言
- 教材、資料作成
- 研究会への参加
- 地域人材の活用

- 先進校視察



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「授業改善の視点」

これからの時代を生きる子どもたちには「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力等」を身につけさせることが重要です。(次期学習指導要領より)

## 基礎学力の向上

一人ひとりのつまずきを早期に把握し、解消するために、よりきめ細かな指導を行う。

### つまずきの早期対応で学力保証

わからん…

つまずきの分析

### 個をサポートする人材の配置と機会提供

- 授業における同室複数指導等の学習支援
- 放課後、土曜日、夏季休業中等の学習支援
- 授業時間中の短時間学習
- 「そだち指導補助員」による個別指導
- 中1夏季勉強会
- 多層指導モデルMIMの実施・研究

わかった！



# 不登校対策

## 不登校の未然防止と対応力の向上

不登校の要因・背景等を把握し、不登校の未然防止、早期発見・対応につなげる。



### 不登校への適切な対応

#### 未然防止に向けた適切な指導・援助

- 学校環境適応感尺度「アセス」を活用した児童生徒理解
- スクールソーシャルワーカー・カウンセラーの活用
- 「スクリーニングシート」等の活用
- 「子どもの育ち支援センター」の活用（家庭児童相談・教育相談・発達相談）

#### 児童生徒の状況に応じた対応力の向上

- 教職員を対象とした研修会

#### 児童生徒に寄り添ったサポート

- ハートフルフレンドの増員

## 居場所・学習の機会づくり

不登校児童生徒の個々の状況に対応した学習等の機会を充実させる。

### 多様な学習と生活の場の提供

#### 児童生徒の居場所の増設（教育支援室）

- 「教育支援室」（旧はつらつ学級）における活動内容の充実（ICT環境の整備、農園の整備等）
- 民間団体へ業務委託をする「教育支援室」の増設

#### 身近な施設を活用した学習スペースの充実（サテライト教室）

- サテライト教室の開設時間の延長

#### 民間施設等との連携促進（フリースクール等）

- フリースクール等の民間施設と連携した居場所づくりの促進



# 市立幼稚園一時預かり

## 長期休業日の実施

長期休業日における一時預かり保育を全園で実施し、年間を通した一時預かり保育を実施することで、子育て支援の充実を図る。

長期休業日における一時預かり保育の実施日を拡充

H30

7月の夏季休業日  
(7/21～7/31)  
のみ実施



H31～

春季、夏季及び冬  
季休業日に実施  
(ただし、お盆及び年末年  
始等は除く)



## 高校特色づくり推進

### 課題解決型学習のすすめ

高校生が正解のない問いに取り組むことで、「自分で考え、表現し、判断し、実際の社会で役立てる力」を育む。

高校の特色

21世紀に生きる力

企業協力

生徒の学習活動のイメージ

- ①協力企業から1社を選び、フィールドワーク等で企業への理解度を深める。
- ②企業から与えられたミッションを達成するための企画を考え、プレゼンの形にまとめる。
- ③1年間の取組成果を、企業にプレゼンする。

学校教育では、教育課程の取組はもとより、教職員組織、施設・設備、地域との連携など、全ての取組がバランスよく充実することが重要であることは言うまでもありませんが、今回の「重点取組」では、教育委員会として、特に重点的に予算をつけた「指導」に関する事項を精選して掲載させていただきました。

学力に関する取組と生徒指導への対応については、全ての学校園で、確実に実施されることが必要ですが、これらの取組をさらに充実させるような取組や、それ以外の取組は、むしろ、各学校園で大いに特徴を出していくことが望ましいと考えています。ぜひ、子供たちが、自分たちの学校園に愛着を持てるよう「おらが学校」を作っていただければと思います。

